

国立研究開発法人産業技術総合研究所

材料・化学領域

Newsletter

No.19

2025年
9月19日発行



- CSJ化学フェスタ2025 産総研特別企画開催
- nano tech 2026 出展

第15回 CSJ化学フェスタ2025 産総研 特別企画 開催

15th CSJ
Chemistry
Festa

日本化学会秋季事業 第15回 CSJ化学フェスタ2025

2025/10/22(Wed.)-24(Fri.)

サーキュラーエコノミーの
社会実装に向けた
資源循環技術一般
公開

産総研では資源制約や環境問題を解決するためのサーキュラーエコノミーの実現に向けた資源循環技術の開発を推進しています。また、本年4月にサーキュラーテクノロジー、CCUS等複数の実装研究センターを新設し、材料・化学領域と一体となって融合的な研究を推進しています。本セッションでは、これらに関して最新の取り組みを紹介します。

日時：2025年**10月22日(木)** 13:30～17:15会場：タワーホール船堀(C会場 2階蓬莱)
東京都江戸川区船堀4-1-1

申込期間：通常申込 2025年10月1日～会期当日

申込フォーム /

申込URL： <https://gakkai-web.net/p/chemistry/reg/new2.php>

プログラム

開会あいさつ 遠藤 明(産業技術総合研究所 材料・化学領域・領域長)

趣旨説明 深谷 訓久(産業技術総合研究所 材料・化学領域・研究企画室長)

13:40～15:20 (座長: 深谷 訓久)

産総研サーキュラーテクノロジー
実装研究センターの設立とミッション佐藤 浩昭
(産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター・
研究センター長)アルミニウムのアップサイクル社会実現に向けた
高純度化技術開発尾村 直紀
(産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター・
研究チーム長)材料診断技術を基軸とした
樹脂マテリアルリサイクルのエコシステム構築渡邊 宏臣
(産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター・
研究チーム長)産業廃水中からのアンモニウムイオン(NH₄⁺)
回収技術Durga Parajuli
(産業技術総合研究所 材料基盤研究部門・主任研究員)

15:30～17:10 (座長: 小久保 研)

リン資源循環に向けた
下水汚泥焼却灰からのリン回収と高付加価値化永縄 友規
(産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門・研究グループ長)

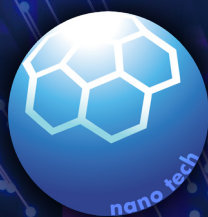
CCUS実装研究センターの設立とミッション

牧野 貴至
(産業技術総合研究所 CCUS実装研究センター・副研究センター長)低濃度CO₂を原料とする含酸素化学品合成松本 和弘
(産業技術総合研究所 CCUS実装研究センター・研究チーム長)化学品生産におけるCO₂排出量と
製造コストを最小化する溶媒の評価法山木 雄大
(産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門・主任研究員)

閉会あいさつ 佐藤 浩昭(産業技術総合研究所 材料・化学領域・副領域長)

nano tech 2026

第25回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 出展



nano tech 2026
International Nanotechnology
Exhibition & Conference

材料・化学領域で推進中の**24件**の**注目研究成果**を、
現地会場にて展示いたします。ポスターはオンラインでもご覧いただけます。

社会実装を見据えた最先端技術が集結!

企業連携を目指す注目の技術や、産業界に広く知っていただきたい先進シーズを中心に、

資源循環

6件、

マテリアルDX

5件、

革新技术(先端シーズ)

5件、

先進素材(先端シーズ)

8件 を出展します。

現地出展

2026年1月28日(水)～1月30日(金) 東京ビックサイト 西ホール

オンライン出展

2025年12月1日(月)～2026年2月28日(土)

主なイベント・講演会情報

CEATEC 2025

日時:2025年10月14日～17日 10:00～17:00 会場:幕張メッセ(千葉県千葉市)

デジタルイノベーションの総合展です。産総研ブースにおいて材料・化学領域からも
「量子コンピュータを利用した材料シミュレーションの加速技術開発」、「量子・古典技術を用いた機能性接着剤開発」の
2件の展示を予定しています。

<https://www.ceatec.com/ja/>



データ駆動型材料設計技術利用推進コンソーシアム 公開シンポジウム

日時:2025年10月21日 14:00～17:00 会場:産総研臨海副都心センター 別館11階会議室(東京都江東区)

データ駆動型材料設計技術利用推進コンソーシアムでは、「自動実験」をテーマに公開シンポジウムを開催いたします。
参加ご希望のかたは、コンソーシアムのホームページから事前登録をお願いいたします。(無料:事前登録期限9月30日)

<https://unit.aist.go.jp/mdx/ja/c-dmd/index.html>



サーキュラーパートナーシップEXPO 2025

日時:2025年12月10日～12日 10:00～17:00 会場:東京ビックサイト(東京都江東区)

サーキュラーエコノミーの社会実装に向けた産学官の最新の取り組みを紹介する展示会に、
産総研グループ(産総研及びAIST Solutions)が出展します。

<https://messe.nikkei.co.jp/cp/>

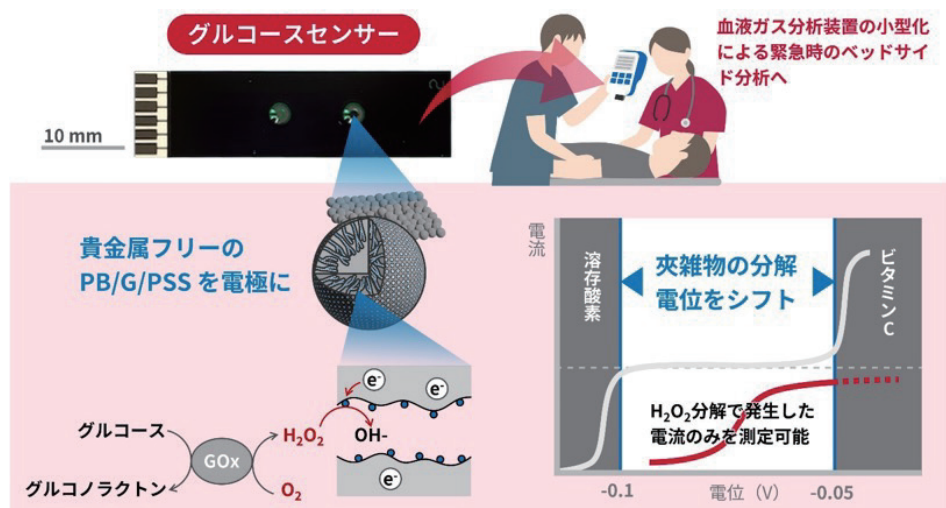


■ 血糖値測定用の電極を開発

May/12

～ 血液ガス分析装置の小型化に貢献する貴金属フリー かつ夾雑物除去機構フリーのグルコースセンサー ～

- ・ 従来の作用極で用いられていた白金電極をPB/G/PSS電極で代替
- ・ 血中の溶存酸素やビタミンCなどの夾雑物の影響を受けずにグルコースを測定可能
- ・ グルコースセンサーの構造の簡略化で、血液ガス分析装置の小型化および低コスト化に貢献



詳しい情報はコチラ 産総研公式ホームページ > ニュース > 研究成果

https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250512_3/pr20250512_3.html

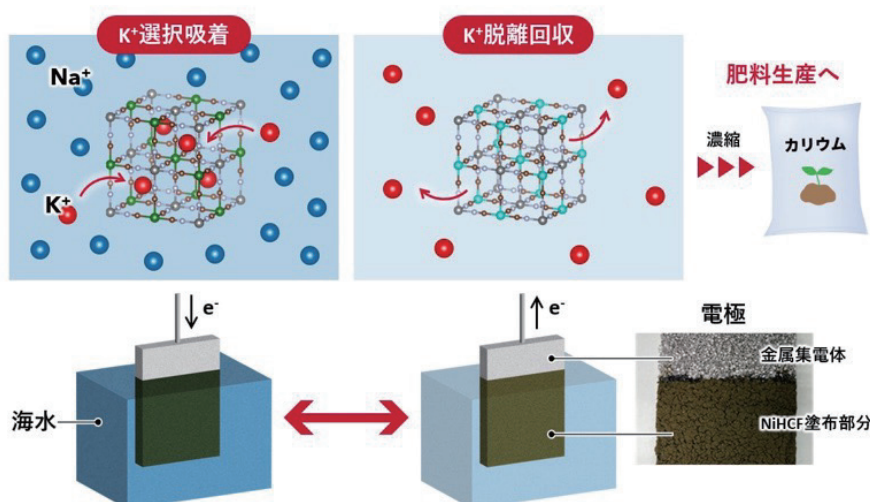


■ 海水から国産肥料の原料を回収

Jun./23

～ 多量のナトリウムが含まれる海水から カリウム資源を選別的に回収する技術の開発 ～

- ・ プルシアンブルー型錯体を塗布した電極を用いて、選別的にカリウムイオンを吸着・脱離
- ・ 複数回処理で、海水のナトリウムイオンを99%以上排除、カリウムイオンを10倍濃縮回収
- ・ 農作物の生育に必要なカリウム資源を国内で安定的に生産する技術につながると期待



詳しい情報はコチラ 産総研公式ホームページ > ニュース > 研究成果

https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250623/pr20250623.html

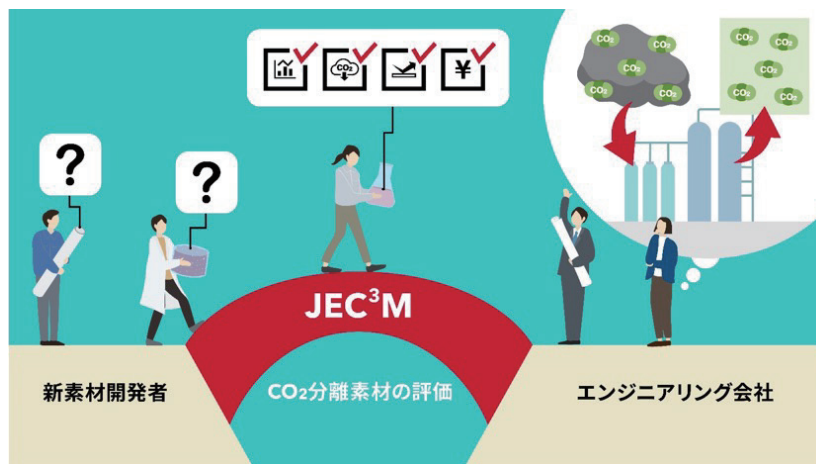


CO₂分離素材の評価サービスを提供開始

～ CO₂分離回収技術の実用化を加速し、カーボンニュートラル実現へ貢献 ～

Aug./21

- ・ 客観的で信頼性の高い、CO₂分離素材(吸収液・吸着剤・分離膜)の評価サービスを提供
- ・ 「素材特性」「分離性能」「耐久性」「エネルギー消費量」「コスト」を評価
- ・ 開発費用の低減・開発期間の短縮により、CO₂分離回収技術の実用化を加速



詳しい情報はコチラ 産総研公式ホームページ > ニュース > 研究成果

https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250821/pr20250821.html

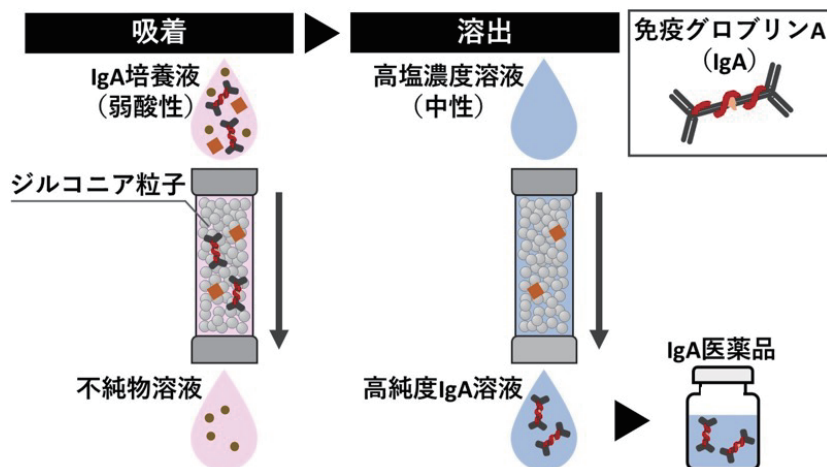


免疫グロブリンAを安価で簡便に精製できる技術を開発

～ 免疫グロブリンAの医薬品開発の促進に貢献 ～

Aug./28

- ・ 安価なジルコニア粒子を使った免疫グロブリンA(IgA)の精製技術を開発
- ・ 使用する溶液のpHおよび塩濃度を変えるだけで簡便に精製可能
- ・ 感染症予防やパンデミック対策に効果が期待されるIgA医薬品開発を促進



詳しい情報はコチラ 産総研公式ホームページ > ニュース > 研究成果

https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250828/pr20250828.html

